

各国のモバイル端末のOSのシェアとGDP

226x105x 大森嶺

2022年6月12日

1 導入

現在、日常の様々な部分で多くの人がスマートフォンのアプリや、サービスを利用している。そのため、アプリケーションや、ソフトを開発する上で、OSのシェアについて把握、理解できていることは重要である。また、モバイル端末のOSのシェア率について、世界の多くの国ではAndroidの占める割合が高いが、日本ではiOSの占める割合が高いと言われている。

そこで、日本、他の国についてもOSのシェア、その要因について、各国のOSのシェア率、人口、一人当たりのGDPを可視化することで、その関係や特徴を調べる。

2 手法

各国のOSのシェア率と人口を積み上げ棒グラフ、GDPを折れ線グラフで表示し、世界地図上でGDPとその国のOSのシェアが最も高いOSがわかるようなカラーマップで表示する。ここで、世界地図で選択されている国のみを棒グラフ、折れ線グラフに表示するようにする。

また、より詳細に調べられるようにGDPの高い国を1～10, 11～20, 21～30番までを表示し、その際に人口の上限、下限を設けてフィルタリングできるようにする。

3 結果

図1からほとんどの国で最も利用されているOSがAndroidであることがわかる。この中でiOSが最もシェアが高い国は、日本、オーストラリア、アメリカ、カナダ、スイス、スウェーデン、ノルウェイ、デンマークの8カ国のみである。図2からこの中でGDPが最も低い国は日本である。

GDPの高い順番の21番から30番を見ると、日本が21番になっている。よって、GDPの上位30カ国のうち、iOSのシェアが最も高い国は8カ国となっている。ここで、人口に下限を設けてiOSのシェアが最も高い国すべてがGDPの上位10カ国に入る、も

しくは、人口のフィルタによって漏れるようにする．図3から人口の下限を 10,000,000 にするとスイス，ノルウェイ，デンマーク以外の 5 カ国が上位 10 カ国に入り，日本が 10 番目となることがわかる．

また，地図から Android のシェアが最も高いような，GDP の高い国と GDP の低い国をランダムに選択する．図4と図5から iOS のシェアが最も高い国以外で見ても，GDP の高い国では比較的 iOS のシェア率が高くなっていることがわかる．

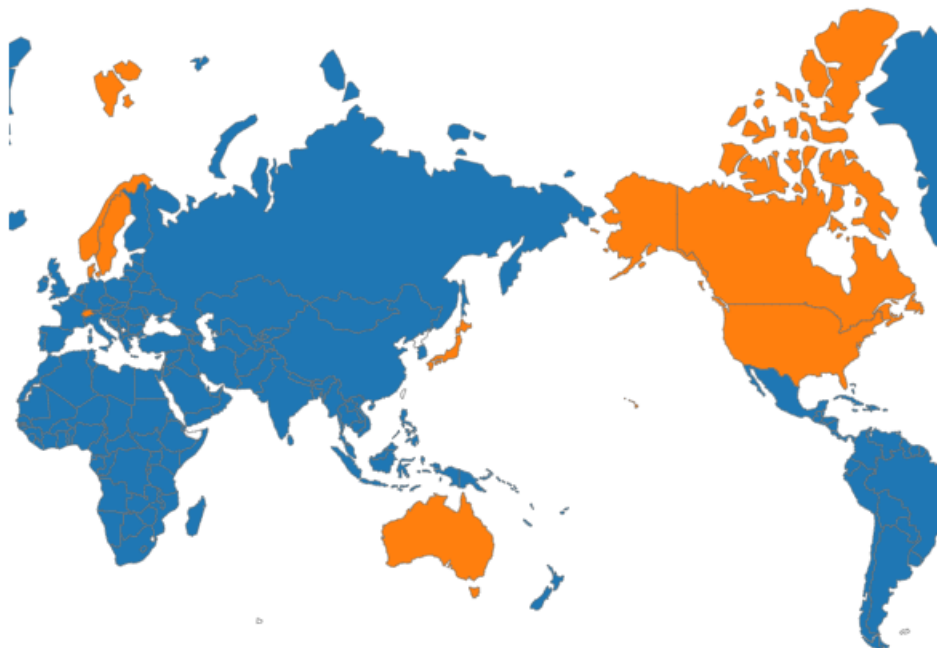


図 1: Top OS of each country

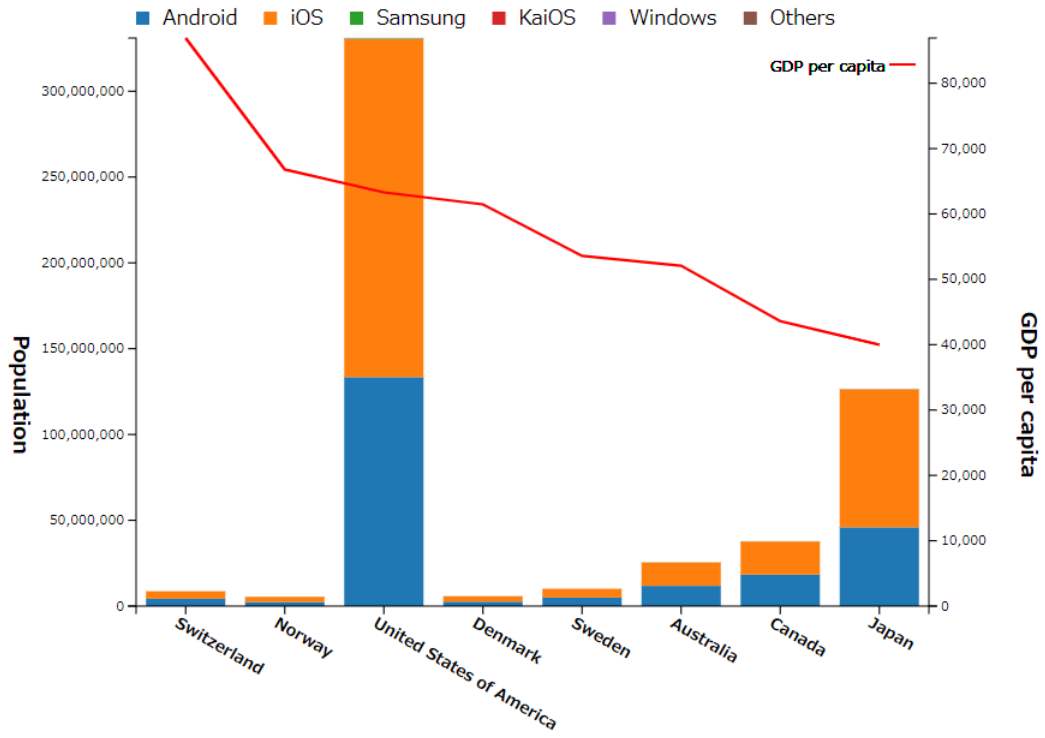


Figure 2: GDP of iOS countries

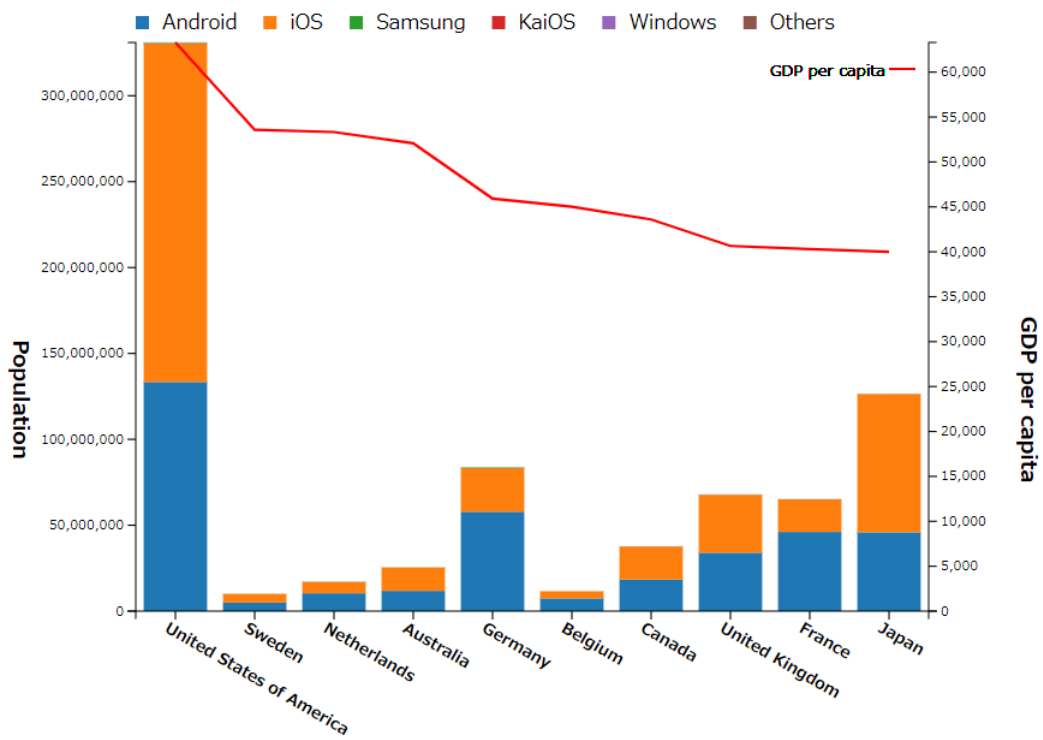


Figure 3: High GDP countries filtered by Population

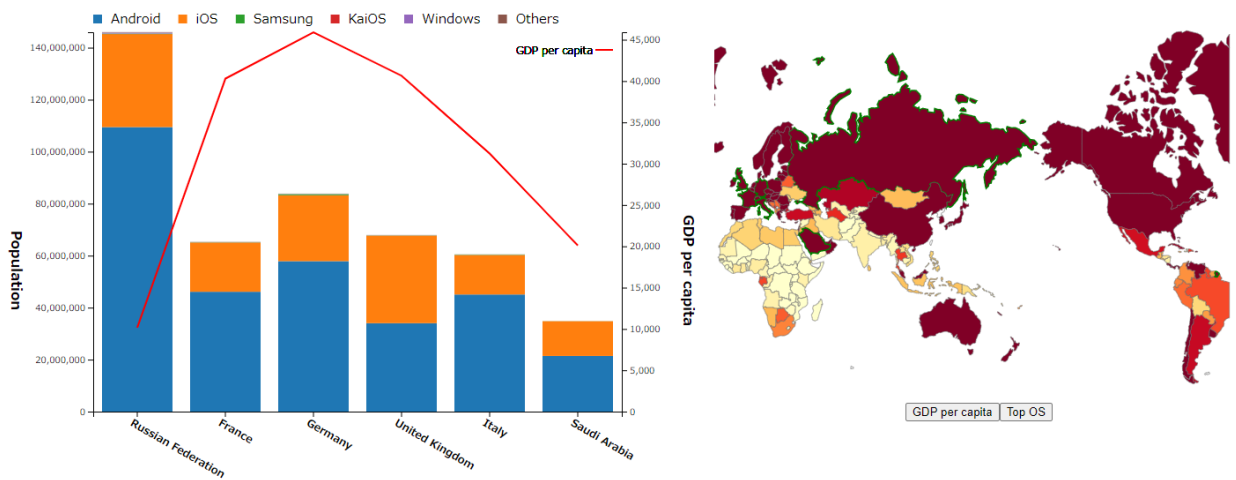


図 4: High GDP countries

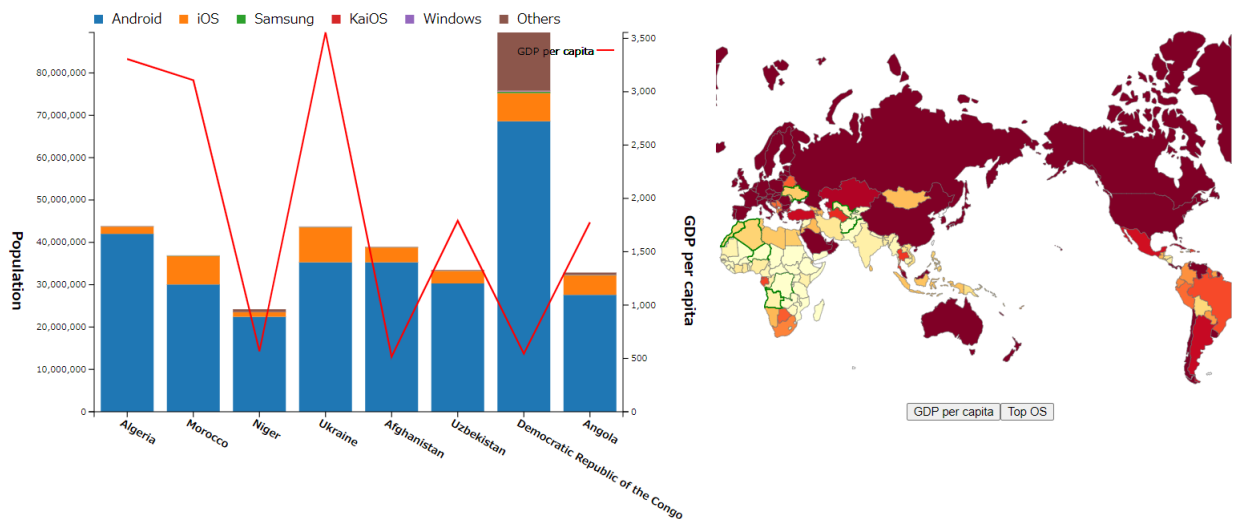


図 5: Low GDP countries

4 考察

GDP の高い順番の 21 番から 30 番を見ると、iOS のシェアが最も高い国の中で GDP の最も低い日本が 21 番目になっている。iOS のシェアをトップとする 8 カ国が GDP の上位 21 カ国に入っていることから GDP が高いことと、その中でも人口がある程度多い国であることが iOS を利用する割合の高くなる要因であると考えられる。

5 結論

人口当たりの GDP の高い国では、低い国に比べて iOS を利用している割合が高くなることが分かった。よって、これらの国に向けるアプリケーション、サービスではそれを考慮して開発を進めることも必要になる。

参考文献

[1] Country boundary

<https://github.com/stamen/spatial-dataviz-for-data-scientists/blob/master/data/world/world-110m.geojson>

[2] Mobile Operating System Market Share, statcounter

<https://gs.statcounter.com/os-market-share/mobile/worldwide>

[3] World Population, United Nations

<https://population.un.org/wpp/Download/Standard/Population/>

[4] GDP, The World Bank

<https://data.worldbank.org/indicator/NY.GDP.MKTP.CD>